

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
310003	X-21-B-2-310003	2	前期	【1年次生】国際学部国際文化学科	専門	必修	2年	
				【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース				
授業科目	担当教員			【2年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	必修	2年	
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	必修	2年	
				【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×	
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×	
				【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×	
国際研究ゼミナール1	臼井 陽一郎			【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×	

ゼミテーマ・タイトル

メッセージを探る—世界に埋め込まれた暗号を解読するためのいくつかの試み

内容

目的：
自分とは誰であるのか、世界とは何であるのか。そして自分は何のために存在し、世界はどこへ向かっていくのか。あらゆる学問がその根本においてこのような根源的な問いにつながっていく。そうでない知識はただの機械の道具にすぎない。真に生きた知に向かって意識を啓いていくこと、それが大学で学問にふれることの基本的目的である。そのためのはじめの一歩として、さまざまなことがらに目を見開き、その意味を問うていきつかけを作っていきたい。

ゼミで実施するワークの例：

自己紹介—いま自分に足りないこと・絶対に手に入れたいこと・ひとを幸せにすること

写真を読む—物語を読み取りメッセージを見出す

動画を観て文章を書く—映像の中で何が生じているのかをつかむ

難民問題について—誰の責任か・誰が救済すべきか・日本は何をすべきか

シリア難民の臓器売買—臓器を買う売人と売る難民は悪を為しているのか

エッセイコンテスト—描写の具体性・論理の説得力・主張の訴求力・文の柔らかさ・無条件の魅力

テキストを読む—入門政治学 365 日・戦争に負けないための二〇章・ダウン症をめぐる政治

音楽を聴いて文章を書く—忌野清志郎・ジョンレノン・発達障がいをもつピアニスト

自分の価値観を探る—理想の自分像と理想の人間像を比較する

政治家のスピーチを聴く—トランプ・サンダース・斎藤隆夫・チャップリン

など。

400 字課題：

400 字ぴったりで下記のテーマを自由に論じる（主語に一人称は使わない・語尾に思う思った感じる感じたは使わない）

人間について・希望について・絶望について・身体について・精神について・社会について・政治について・世界について・正義について・自由について・公正について・不安について・平等について・理想について・秩序について・歴史について・テロについて・権力について・戦争について・責任について

なお、400 字課題ふくめて、毎回 4 時間相当の予習／復習が必要になります。

使用予定テキスト

授業中に配布します。

ゼミの進め方

毎回ゼミ内で課題を出す。A3 版用紙一枚でその課題への応答を表現してもらう。絵を描くのもかまわない。

成績評価基準

ゼミ内で実施する課題 50%

ゼミ外で実施する課題（400 字課題）50%

ゼミ選択上のアドバイス

ゼミの中でぽつんと一人、だれとも喋らずすわっているだけでもよいです。頭の中で・心の中で、しっかりと考え抜いてください。いつめんと一緒に来て机の上にカバンをおいて先生から手元が見えないようにして隣のイツメンとべちゃくちゃ私語してスマホで LINE やゲームに精を出して限られた生命の時間を湯水のように無駄遣いするのもかまいません。ふとした瞬間にゼミでやったことを一瞬でも思い出したらそれにこだわってみてください。人間という存在が生きているという事態がもつさまざまな凄さ・切なさ・怖さ・素晴らしさに意識が向かうその一瞬をしっかりとらえられるようなそんな学生になってもらえたら、まあ良いかなと思います。

その他

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
310003	X-21-B-2-310003	2	前期	【1年次生】国際学部国際文化学科	専門	必修	2年	
				【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース				
授業科目	担当教員			【2年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	必修	2年	
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	必修	2年	
				【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×	×
				【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×	×
国際研究ゼミナール1	越智 敏夫			【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×	

ゼミテーマ・タイトル

「現代の社会問題と私たち」（前期・後期同一テーマ）

内容

国際研究ゼミナール1・2は基礎ゼミナールの延長線上にあると僕は考えています。ものを読み、考え、議論し、それを文章にまとめるという作業は基礎演習と同じです。しかしこのゼミで中心になるのは基本的な読解力を前提とした上での議論です。

今年度の細かいテーマは未定です。ただし「現代社会は多くの問題をかかえていて、その多くの問題と人間一人ひとりが生きにくいという事実は関連している」という基本的認識はずれることはありません。特に先進資本主義国に特有の諸問題を取り扱う予定ですが、どんな事例を議論するときにも他人事としてではなく自分の問題として考えることを要求します。

たとえば現在、世の中で多くの人が殺されています。その「殺人」という行為には変わりがなくても、それら多くの殺人を私たちは細かく差異化していきます。テロリストによる虐殺、法治国家における死刑、正当な防衛行為、教育の「行き過ぎ」としての体罰、英雄的戦功、医療過誤、テロ根絶のための必要悪、反逆者の処刑、武装蜂起に対する秩序維持……など、呼び方はいろいろです。しかしすべての行為が「人が人を殺す」という点においては同じです。こうした呼称の差異という問題は、そのままそれらの人殺しという行為と私たちの関係を明らかにしていくはずで、その関係の総体が現代社会を構成していると考えられませんか。

こうしたことについて「そんなもん知るか。全部違うのは当たり前だろ」と言って開き直るのは、現在の社会のありかたをまったく批判していないということです。目の前の世界を「快適」だと思いこんでいるということで、それは実は何も考えてないということを表示しているだけです。酸素を吸って二酸化炭素を吐いているだけです。マレーシアの森林資源のためにはなっているでしょうが、人生の意義は限りなく低いでしょう。何かを考えて1日生きるのと、何も考えずに5万年生きるのを比較すれば、それは前者のほうがはるかに人間として意義深いと僕は考えます。

毎回の予習・復習に、合わせて4時間相当の課題を提示し、その成果を提出してもらいます。

使用予定テキスト

田中克彦 『ことばと国家』 岩波新書
 鶴見俊輔 『戦時日本精神史』 岩波書店
 小倉千加子 『セックス神話解体新書』 ちくま文庫
 フロム 『自由からの逃走』 東京創元社
 杉田敦 『デモクラシーの論じ方』 ちくま新書
 以上を候補としていますが、初回に参加者と相談して決定します。

ゼミの進め方

テキストを全員で講読します。全体の進行を担当する「司会」、内容の要旨を報告する「レポーター」と、その内容を批判する「コメンター」を中心に議論を進めます。ゼミ生はこのみっつの役割を順番に担当します。各テキストの読了後にはそのテーマについてのレポートを書いてもらいます。

成績評価基準

出席を重視します。各セメスター2回までは欠席しても単位を出します。3回以上欠席すると単位は出ません。欠席の理由は問いません。バイトでも風邪でも、欠席は欠席です。

ゼミ選択上のアドバイス

自分をだまさないことです。大学生活を言い訳の多い4年間にしてしまうと、それは癖になります。その後の人生でも同じ状況が続く危険性は高いでしょう。ですから本当は遊びたいのにきついゼミを選んだりすれば、教師も学生もお互い不幸になるのは明らかです。そしてこのゼミはきついゼミです。そこをこのところをよくよく考えてください。勉強したい人、議論したい人にとっては意味のあるゼミにしたいと考えています。

その他

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
310003	X-21-B-2-310003	2	前期	【1年次生】国際学部国際文化学科	専門	必修	2年	
				【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース				
授業科目	担当教員			【2年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	必修	2年	
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	必修	2年	
				【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×	
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×	
				【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×	
国際研究ゼミナール1	熊谷 卓			【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×	

ゼミテーマ・タイトル

「法的な思考（リーガル・マインド）を深化させよう！」

内容

ゼミの内容(目的も含む)：

賃貸借契約、遺言、黙秘権、表現の自由、条約、ということばに共通するものはなにか、と問われれば、なんと答えるだろうか。「法」とか「ルール」という答えを想定することができるとは思わないだろうか。より細かく見れば、それぞれ民法（借地借家法）、刑法（刑事訴訟法）、憲法、国際法といった具合に。そして、われわれは実は様々な場面でこの法と関わっていることができる。

ところで、ほとんどのみなさんは民事法そして刑事法のみで、「未成年」最後の年に2年次生ゼミナールに参加することになると思う。その翌年には、およそすべての法律の容赦ない適用対象となってしまう。そのため、原則として、もう少年（少女）Aではない。その前にできるかぎり、法というものの考え方に接しておくことは決して無駄ではないと、思うのであるが、どうであろうか？

そこで、このゼミナールは、各ゼミ生の法的な思考をより深めてもらうことを主要な目的とする（それは同時に3／4年次ゼミナールへの橋渡しとなる）。

具体的にいうと、次の二つのテーマ、

- ①性同一性障害者をめぐる問題(自己と異なる他者に対する配慮とは)および
- ②死刑廃止の是非に関する問題(責任の取り方とは)

について、じっくりと、深く検討する予定である。

さらに、時間が許せば、

男女区別の是非（レディース・デイとは男性に対する差別か、適法か）、

美容整形に納得がいかないときの慰謝料(美の基準とは、医療過誤とは)、

児童の権利などの問題についても検討し、ゼミ生とともに議論をしたいと思う。

毎回の予習・復習に、合わせて4時間相当の課題を提示し、その成果を提出してもらいます。

使用予定テキスト

別途指示する。教科書販売にて事前に購入し、初回ゼミに持参ください。

ゼミの進め方

上記のテーマに関して、ゼミ生のなかから報告者とコメントを決める。彼らの議論を土台としてその他のゼミ生はテーマにつき、理解を一層深め、議論を進める。

レポートの提出も適宜求める。

なお、報告のやり方、レポートの書き方についても、十分に時間をかけて説明をする予定です。安心してください。

成績評価基準

報告やレポートの良し悪し（50パーセント）、ゼミへの参加度(単に出席しているという意味ではない)（50パーセント）を基準に成績をつける。

ゼミ選択上のアドバイス

「内容」からすると、「面白そうな」（気楽な）ゼミに見えますが、「面白い」と感ずるかどうかは、皆さんの勉強量にかかっています。

「法律は面白い」と感ずるまでにはハードワークが要求されます。それでもよい、という人を歓迎します。

どうぞよろしく願いいたします。

その他

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
310003	X-21-B-2-310003	2	前期	【1年次生】国際学部国際文化学科	専門	必修	2年	
				【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース				
授業科目	担当教員			【2年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	必修	2年	
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	必修	2年	
				【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×	
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×	
				【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×	
国際研究ゼミナール1	佐々木 寛			【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×	

ゼミテーマ・タイトル

映画で観る——〈現代〉とはいかなる時代か

内容

1年生の基礎演習にひきつづき、専門的な勉強に入る前の知的な柔軟体操を行います。どんなに専門的な勉強を積んでも、社会科学の「センス」のない人は努力が空回りしてしまいます。当ゼミでは、身の回りのできごとや日常の生活を掘り下げてゆく中から世界へと通じる回路を発見していくことができるような真の意味での社会科学的な想像力を、それぞれが自分なりに獲得することを目指します。大学で学んだ個々の知識の断片は卒業すれば忘れてしまうかもしれません。でも、物事の本質的な側面を切り取る思考の技術（アート）は、どんな道に進もうとも古びたりしません。ただ、2年生のゼミですから、基礎演習よりさらに進んで、〈現代〉とはいかなる時代か、自分たちは今どういう時代に生きているのかという、〈歴史的な自己認識〉との出会いを目指したいと思います。それゆえゼミでは、〈現代〉という時代を読み解くための視点や方法を獲得するために知的に面白いと思われるテキストなら何であれ、分野を越えて縦横無尽に読んでいこうと思います。とくにできるだけ多くの映画を観る中で、このテーマを追求しようと思います。

また、当ゼミでは、可能であれば合宿研修を予定しています。これは国内国外、どちらもアリです。参加者が話し合っ、行き先も決めます。たとえば〈オキナワ〉という土地は、日本の近代や平和の問題を考える上でとても重要な土地です。新潟との共通点も少なくありません。〈オキナワ〉の歴史や風土を身体で感じることによって、かならずや、それぞれの参加者が自分なりの問題意識をもつようになると思います。

頭でっかちではなく、感性や身体で世界の問題を捉え、思考できるようになることも、このゼミの目標です。「この際おもいっきり勉強してみたい！」と思う人向きのゼミナールだと思います。

毎回の予習・復習に、合わせて4時間相当の課題を提示し、その成果を提出してもらいます。

使用予定テキスト

基本的に、日本平和学会編『平和を考えるための100冊+α』（法律文化社）を購入していただきます。映画以外のテキストはこの中で紹介されている書籍から選びます。以下は、これまで取り上げた映画作品・テキストの一例です。

- ・D. リーン『アラビアのロレンス』（映画）
- ・D. リーン『ドクトル・ジバコ』（映画）
- ・S. キューブリック『博士の異常な愛情』（映画）
- ・F. トリュフォー『華氏451度』（映画）
- ・E. クストリッツァ『アンダーグラウンド』（映画）
- ・A. ニコル『ガタカ』（映画）
- ・P. ワーナー『ノーマンズランド』（映画）
- ・E. ホブズボーム『20世紀の歴史』三省堂
- ・オルテガ『大衆の反逆』ちくま学芸文庫
- ・E. H. カー『危機の20年』岩波文庫
- ・H. アレント『人間の条件』ちくま学芸文庫
- ・丸山眞男「現代における人間と政治」
- ・栗原彬「いじめの政治学」
- ・佐々木寛「グローバルな『全体主義』と新しい戦争」
- ・大田昌秀『沖縄一戦争と平和』朝日文庫

ゼミの進め方

基本的にさまざまなテキストを共同でじっくり味わっていきます。「内容」のところでも述べたように、ゼミ合宿も予定しています。さらに具体的な運営方法に関しては、参加者と相談して決めます。

成績評価基準

ゼミへの参加態度や貢献度 + レポートの出来。

ゼミ選択上のアドバイス

いままでの経験から、「学生はおのれにふさわしいゼミしかもてない」と思います。能力や知識よりも、ゼミというひとつの社会を自分の力で楽しくつくっていくとする気概をもった学生を歓迎します。価値あるものには苦勞をいとわない学生を歓迎します。

その他

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
310003	X-21-B-2-310003	2	前期	【1年次生】国際学部国際文化学科	専門	必修	2年	
				【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース				
授業科目	担当教員			【2年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	必修	2年	
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	必修	2年	
				【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×	×
				【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×	×
国際研究ゼミナール1	澤口 晋一			【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×	

ゼミテーマ・タイトル

新潟の地理を題材に、調べ、分析・整理し、プレゼンする力を養う。

内容

ゼミや卒論指導で学生と接して毎年強く感じることは、今の学生は（昔からそうだったのかもしれないが）「自分で調べる力が圧倒的に弱い（あるいはその気力がない）」ということです。テキストを講読しても書かれてある文章を短くして言うだけで、それはどういうこと？と問うとほとんど何も答えられない。つまりわかっていないのである。説明するということがどういうことか理解できていないのである。これでは講読（発表）自体が無意味である。

このゼミでは、新潟に関する地理的事象を1000字ほどで記述した簡略な文章の中からより深く調べられる記述を複数選定してもらい、それをできる限り詳しく調べなおして、発表するというものです。そのために時間をかけて色々な資料を探しだしてもらいます。その資料を内容に応じて加工し、資料にものを言わせる形で整理しまとめてもらいます。発表までに私との個々のやり取りを最低でも3回行い、内容をより深く充実したものとしていきます。このような過程を通じて、資料の扱い方とプレゼンの方法を学んでもらいます。発表までの準備期間は最低でも3週間かけてもらいます。付け焼刃で準備したものは報告させません。

毎回の予習・復習に、合わせて4時間相当の課題を提示し、その成果を提出してもらいます。

使用予定テキスト

鈴木郁夫・中田 勝・田中和徳『新潟ものしり地理ブックⅡ』新潟日報事業社。2013年。

ゼミの進め方

1回のゼミで2人発表。発表には必ずパワーポイントを使用します。

成績評価基準

取り組み姿勢、発表内容、レポートにより評価。

ゼミ選択上のアドバイス

地理的な事項に興味・関心のある人が望ましいが、それ以外でも調べる力を身に付け、パワポで発表するというスキルを身に着けたい人。

その他

上述したように、発表は全員パワーポイントを使用します。今は、企業でも官公庁でも会議等での報告はほぼパワーポイントを使用します。効果的でわかりやすいパワーポイントの作成技術が誰にでも求められています。パワポを否定的にとらえる教員もまだいますが、それは時代錯誤といっていでしょう。パワポの発明と浸透によって、少なくとも理系・情報系の分野のプレゼンは革命的に変わったといって過言ではありません。このゼミでは、どうやって効果的なパワポ画面を作成し、それをどう使いながらプレゼンするのか、といったことも、個々人に丁寧に指導します。

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
310003	X-21-B-2-310003	2	前期	【1年次生】国際学部国際文化学科	専門	必修	2年	
				【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース				
授業科目	担当教員			【2年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	必修	2年	
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	必修	2年	
				【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×	
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×	
				【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×	
国際研究ゼミナール1	山田 裕史			【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×	

ゼミテーマ・タイトル

市民による国際協力の実践

内容

国際協力について学ぶゼミです。

国際協力は、何のために、誰が、どのように行うものなのでしょうか。また、グローバル化が進んだ世界に生きる市民として、私たち一人ひとり、日常生活のなかでどのように国際協力を実践できるのでしょうか。このゼミでは、国際協力に関する文献やドキュメンタリー、ワークショップを通じて、これらの問いについて考え、議論します。

また、図書館での文献・資料など情報の探し方やプレゼンテーションの仕方、レポートの書き方など、大学生として不可欠な学びの技法をしっかり身に付けます。

以上の学びを実践するために、学期末にはグループごとに関心のある国際協力の分野を選び、その分野においていま何が問題となっているのかを調べ、それを解決するために私たち一人ひとりがどのようなことを実践できるのかを考え、発表してもらいます。

なお、希望者がいれば、カンボジアまたはベトナムをフィールドに国際協力の現場を訪問する、スタディ・ツアーの実施も検討します。

毎回の予習・復習に、合わせて4時間相当の課題を提示し、その成果を提出してもらいます。

使用予定テキスト

今年度は最初に以下の書籍の一部を読み、その後は履修者の関心を聞きながら相談して決めます。

西あい・湯本浩之編著『グローバル時代の「開発」を考える』明石書店、2017年

国際協力の具体的なテーマについて把握するには、以下の書籍に目を通しておくことを勧めます。

一般社団法人 Think the Earth『未来を変える目標：SDGs アイデアブック』紀伊國屋書店、2018年

内海成治編『新版 国際協力論を学ぶ人のために』世界思想社、2016年

ゼミの進め方

(1) 文献講読・ドキュメンタリー鑑賞と討論、(2) 各グループの研究に関する発表、を組み合わせで行います。また、学期末にはグループで発表した内容を、各自レポートにまとめます。

成績評価基準

(1) 出席、(2) 文献講読と討論の内容、(3) グループ発表の内容、(4) レポートの内容、をもとに総合的に評価します。

グループ発表に対するフィードバックとして、評価シートにもとづく講評を行います。

ゼミ選択上のアドバイス

「国際協力論」の授業を履修済であるか、または本ゼミとあわせて履修することを勧めます。

また、グループでリサーチや発表の準備を行うため、ゼミの時間以外にもグループごとに集まって作業することが求められます。

国際協力について学ぶだけでなく、国際協力にかかわる学生団体で活動したり、日常生活においても身近な国際協力を実践したりする、意欲的な学生の履修を期待します。

その他

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
310003	X-21-B-2-310003	2	前期	【1年次生】国際学部国際文化学科	専門	必修	2年	
				【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース				
授業科目	担当教員			【2年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	必修	2年	
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	必修	2年	
				【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×	
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×	
				【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×	
国際研究ゼミナール1	瀬戸 裕之			【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×	

ゼミテーマ・タイトル

東南アジアの地域形成を考える

内容

【ゼミの目的】

本ゼミでは、東南アジアの地域形成を学びながら、日本とアジアについて考えることを目的とします。

東南アジアは、現在、世界の中でも経済発展が目覚ましい地域であり、日本企業も多く進出しています。また、毎年、多くの観光客が訪れており、日本との関係が深い地域です。さらに、アジアで唯一、地域統合が進みつつあり、2015年末には、ASEAN共同体が発足するなど、今後の展開が注目されています。その一方で、近年では、中国との間での領土紛争などが話題になっています。

今後、東南アジアは、どのような方向に発展していくのでしょうか。また、日本は、それにかかわっていくべきなのでしょうか。安全保障や経済関係という視点を超えて、東南アジアとの間でより深い関係をつくるためには、東南アジアがどのように形成されてきたのか、日本と東南アジアがどのような位置づけにあるのか、という点について、長期的な視点から考えてみるのが重要であると考えます。

本ゼミでは、岩崎育夫著『入門 東南アジア近現代史』と一緒に読みながら、東南アジアに対する理解を深めたいと考えています。さらに、ゼミでの報告を通じて、専門書の読み方、内容のまとめ方、レジュメの作成の仕方、文献の引用の仕方、発表の方法、質疑応答の方法など、3年次、4年次に専門的なテーマを学習するための方法について学びます。

毎回の予習・復習に、合わせて4時間相当の課題を提示し、その成果を提出してもらいます。

使用予定テキスト

岩崎育夫著『入門 東南アジア近現代史』（講談社現代新書）、講談社、2017年。

※受講者に、必ず購入してもらいます。

ゼミの進め方

学生が本の各章を担当し、内容をまとめ、レジュメを作成してゼミ内で報告します。報告内容に基づいて、学生が報告者に質問し、必要であるときには教員が補足説明をします。報告をする学生は、本に書いてある内容について、他の学生が理解できるように情報を集めて補足することが求められます。

成績評価基準

学生によるゼミへの参加と報告内容に基づいて成績を出します。具体的には、(1)ゼミへの出席・授業態度(25%)、(2)担当した章に関する発表内容と取り組みへの姿勢(50%)、(3)ゼミでの発言やディスカッションへの参加(25%)、に基づいて評価します。

ゼミ選択上のアドバイス

ゼミに参加する学生は、自らが担当する部分以外の章についても事前に読み、内容を予習してください。また、ゼミでの質疑応答、ディスカッションに積極的に参加することが求められます。

その他

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習